

平成 22 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 原 田 穰
 (J A S D A Q ・ コード 5 2 7 7)
 問合せ先 役職・氏名
 常務取締役企画室長 村 山 典 子
 電 話 0 3 - 5 6 8 9 - 6 3 1 1

平成 22 年 3 月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日付当社「平成21年3月期決算短信（非連結）」において発表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

① 修正の内容

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	3,100	85	105	50	円 銭 6.20
今回修正 (B)	3,100	△75	△20	△120	△14.73
増減額 (B-A)	0	△160	△125	△170	—
増 減 率	0.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	4,350	206	270	△225	△27.66

② 修正の理由

主力のスパンクリート事業が、景気減速によるマンションを始めとする建設需要減の影響をまともに受け、第3四半期以降の生産数量が急速に落ちており（第3四半期累計期間対前年同期比 38.7%減少）、通期では対前年同期比 42%超の減少が見込まれ、特に原材料価格が高止まりする中、予想を超える低稼働水準のため工場の採算が大幅に悪化しており、赤字計上を余儀なくされる見込みとなりました。

不動産事業は引き続き好調を持続しておりますが、スパンクリート事業の低迷により、営業損失7千5百万円、経常損失2千万円、有価証券評価損の特別損失7千5百万円等を見込んで、当期純損失1億2千万円の見通しとなりました。

従いまして通期業績予想値の営業利益、経常利益、当期純利益について下方修正することといたしました。

2. 配当予想修正

① 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成21年5月14日発表)	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 4.00
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00	—	—
前期(平成21年3月期)実績	0.00	4.00	4.00

② 修正の理由

当社は、企業体質の強化と積極的な事業展開への備えを図りつつ、安定的・継続的な配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、平成22年3月期におきまして、上記の通り当期純損失が約1億2千万円となる見込みとなったことから、誠に遺憾ではありますが平成22年3月期の期末配当を見送らざるを得ないと考えております。

株主の皆様には誠に申し訳なく深くお詫び申し上げる次第であります。何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(注) 上記の業績予想につきましては、本紙資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上